

2025年3月6日

報道関係各位

連合および労働組合のイメージ調査2025

日本労働組合総連合会(略称:連合、所在地:東京都千代田区、会長:芳野 友子)は、このたび連合・労働組合の認知度や連合に対するイメージなどを把握することを目的に、「連合および労働組合のイメージ調査2025」をインターネットリサーチにより2024年11月22日～11月25日の4日間で実施、全国の15歳以上の男女2,000名の有効サンプルを集計しました(調査協力機関:ネットエイジア株式会社)。

【調査結果のポイント】

《労働組合について》

- ◆ 労働組合の認知率は81.8%、20代以下では7割程度と若い世代ほど低い傾向(p.7)
- ◆ 若い世代ほど、自分自身が労働組合に加入しているか「わからない」と回答(有職者全体で26.3%、20代で40.1%)(p.9)

《連合について》

- ◆ 連合の認知率は全体52.3%、女性46.0%、男性58.5%と前回比でほぼ横ばい(p.11)
- ◆ 連合の取り組みとして知っているものは、前回調査と同様、1位「春闘(春季生活闘争)の実施」2位「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(p.13)
- ◆ 連合のイメージ 1位「伝統的だ」2位「影響力のある」3位「保守的な」と上位は前回と変わらずも、「自分たち向けの」「親しみやすい」「等身大の」「カジュアルな」等のイメージは微増(p.15)
- ◆ 「連合は身近な存在だと思う」は連合認知者の35.8%(前回35.1%)が回答、20代では53.6%(前回46.3%)と増加(p.17)

「連合のイメージにおける課題を認識し、認知を広げる取り組みを」

日本労働組合総連合会 総合運動推進局長 春田雄一

今回の調査は、2022年に行った「連合および労働組合のイメージ調査」を更新したもので、前回調査以降取り組んできた、「連合のイメージアップの取り組み」の効果を測るためのものです。

労働組合の認知率は8割、連合の認知率は5割と前回調査からほぼ横ばいで、若い世代ほど低くなる傾向も前回同様でしたが、連合を「身近な存在だと思うか」という質問に対し、20代では5割以上が「そう思う」と回答し、前回調査から7.3ポイント上昇しました。また、連合イメージについては、「伝統的だ」「保守的な」「真面目な」といった堅いイメージはわずかではあるものの減少し、「自分たち向けの」「親しみやすい」といった『必ずそばにいる存在』としてのイメージもわずかながら上昇しました。積極的なイメージアップ戦略が徐々に浸透しつつあるともいえますが、全体的な認知度アップには、まだまだ発信力の強化が必要です。

また、連合の取り組みとして知っているものの上位に「労働組合づくり支援・労働相談の実施」が、とりわけ若い世代に多くみられる一方で、依然として仕事に関する不満の相談先として労働組合が選ばれる割合が低いことや、連合の取り組みが「全くわからない」と答えた人も少なくないことなどから、引き続き連合の認知度の拡大をはかるとともに、取り組みをわかりやすく、工夫しながら発信していくことが重要です。

働く人の多くが仕事に関して何らかの不満があることや、連合と労働組合に期待することの結果などからも、改めて労働組合・連合の活動の重要性・必要性を肝に銘じ、引き続き、連合が『必ずそばにいる存在』となるための取り組みを進めてまいります。

◆仕事に対する不満について(p.3- p.6)

- ・「仕事・職場に対する不満がある」有職者の66.2%
不満の内容 1位「賃金が低い」2位「人間関係がよくない」3位「会社の将来に不安がある」
- ・有職者が仕事・職場の不満解消のためにとった行動 「家族・友人に相談」17.8%、「何もしていない」57.7%
「行政に相談」は4.3%、「労働組合に相談した」は4.2%と低い結果に
- ・仕事・職場の不満解消のため行動していない理由 1位「不満の解消は諦めている」

◆労働組合について(p.7- p.10)

- ・労働組合の認知率は81.8%、10代では69.0%
働いたことがない人では49.2%
- ・「勤務先に労働組合がある」36.0%、従業員規模10人未満の職場では4.9%
- ・有職者の勤務先での労働組合加入率は23.5%、30代では29.2%

◆連合について(p.11- p.21)

- ・連合の認知率は52.3%、女性46.0%、男性58.5%
- ・連合の認知経路 1位「TV」2位「新聞」、10代では「YouTube」、20代では「X」が2位に
- ・連合の取り組みとして知っているもの 1位「春闘の実施」2位「労働組合づくり支援・労働相談の実施」
10代では「労働組合づくり支援・労働相談の実施」が1位に
- ・連合のイメージ 1位「伝統的だ」2位「影響力のある」3位「保守的な」4位「真面目な」5位「堅実な」
- ・「連合は身近な存在だと思う」連合認知者の35.8%、20代では53.6%
- ・連合が身近な存在だと思う理由 1位「困ったときに頼れる」、男性1位は「社会の役に立っている」
- ・連合が身近な存在だと思わない理由 1位「身近に関わっている人がいない」
- ・連合と労働組合に期待すること 1位「賃金・労働条件の改善」2位「雇用・労働にかかわる法制度の改善」
女性の4人に1人が「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」に期待

調査結果

《仕事に対する不満について》

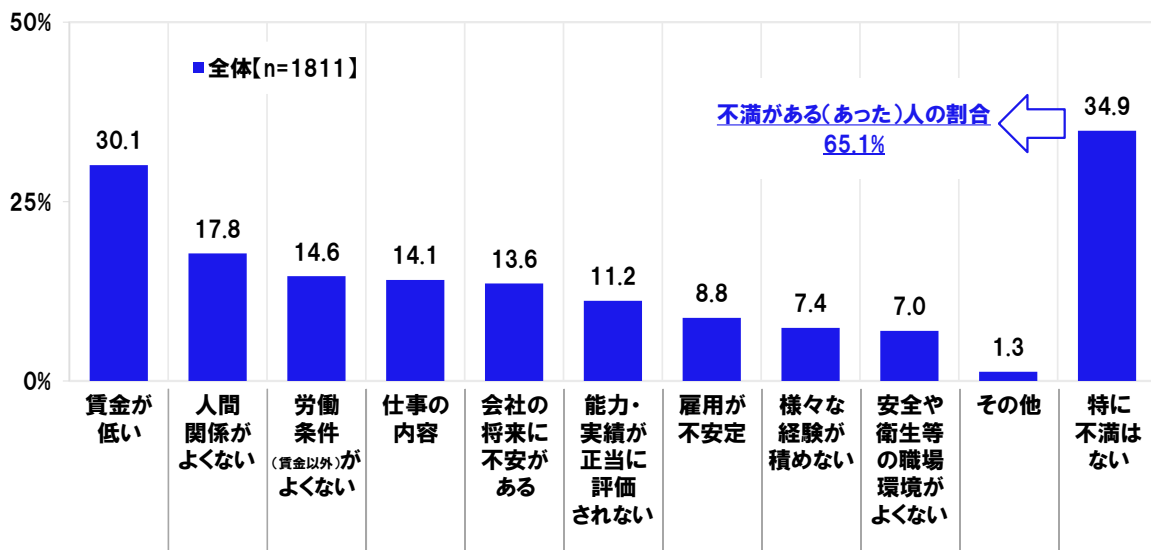
◆「仕事・職場に対する不満がある」有職者の66.2%

不満の内容 1位「賃金が低い」2位「人間関係がよくない」3位「会社の将来に不安がある」

はじめに、就業経験のある人（現在働いている人、または過去に働いていた人）1,811 名に、仕事・職場に対する不満について聞いたところ、「賃金が低い」（30.1%）が最も高くなり、「人間関係がよくない」（17.8%）、「労働条件（賃金以外）がよくない」（14.6%）、「仕事の内容」（14.1%）、「会社の将来に不安がある」（13.6%）が続きました。不満がある（あった）人の割合は 65.1%（100% - 「特に不満はない」34.9%）となりました。

仕事・職場に対する不満 [複数回答形式]

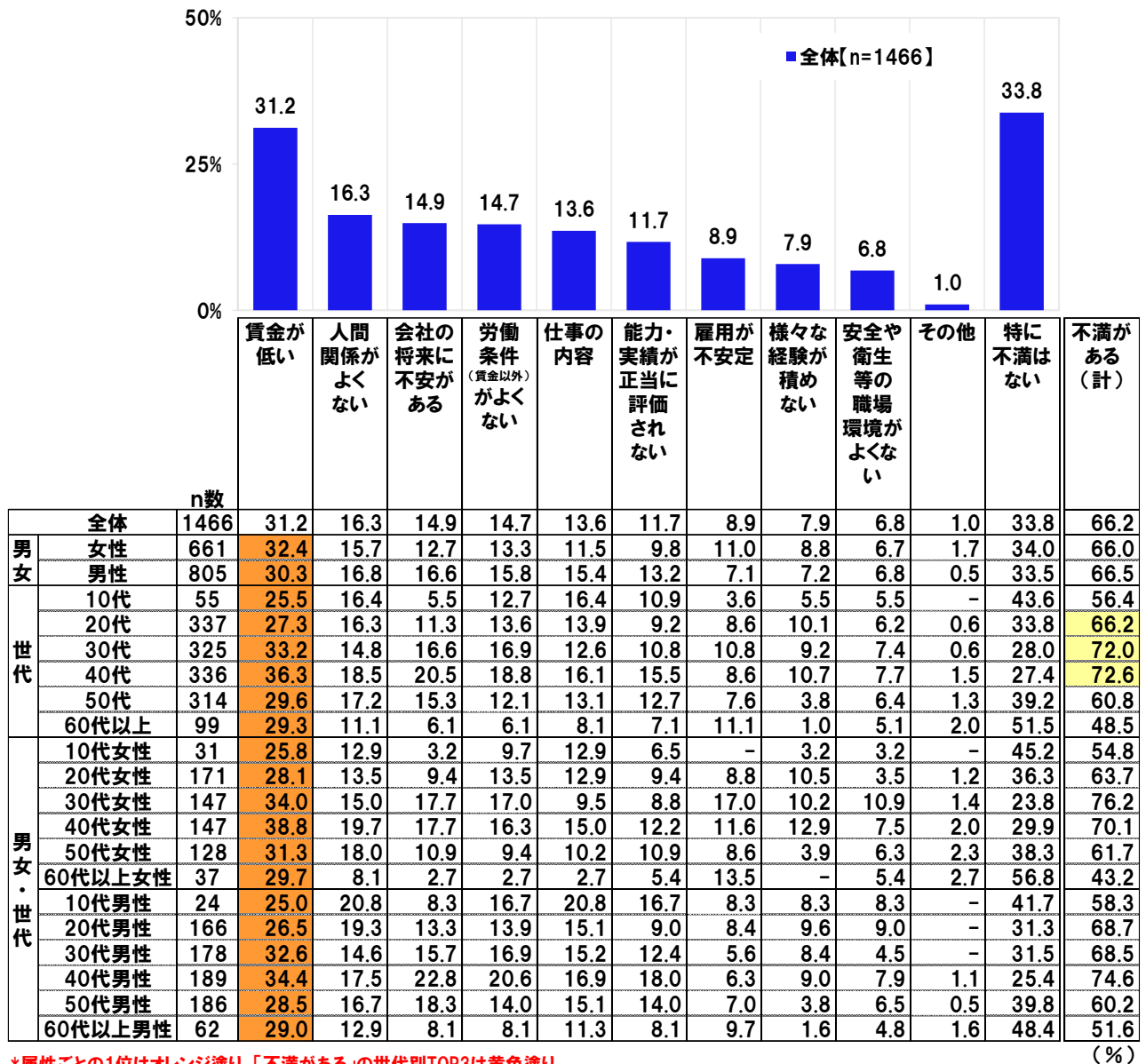
対象：現在働いている人、または過去に働いていた人



現在働いている人(1,466名)についてみると、「賃金が低い」(31.2%)が最も高くなり、「人間関係がよくない」(16.3%)、「会社の将来に不安がある」(14.9%)、「労働条件(賃金以外)がよくない」(14.7%)、「仕事の内容」(13.6%)が続きました。また、不満がある人の割合は66.2%でした。

世代別にみると、40代では「賃金が低い」(36.3%)と「会社の将来に不安がある」(20.5%)が全体と比べて5ポイント以上高くなりました。不満がある人の割合が最も高くなったのは40代(72.6%)で、30代(72.0%)、20代(66.2%)が続きました。

仕事・職場に対する不満〔複数回答形式〕 対象:現在働いている人



*属性ごとの1位はオレンジ塗り、「不満がある」の世代別TOP3は黄色塗り

業種別にみると、[建設業]では「会社の将来に不安がある」(25.8%)が全体と比べて 10 ポイント以上高くなり、[製造業]では「人間関係がよくない」(21.7%)、[情報通信業]と[運輸業、郵便業]では「会社の将来に不安がある」(順に 20.0%、20.3%)、[卸売業、小売業]と「教育、学習支援」では「賃金が低い」(順に 36.2%、38.0%)、[学術研究、専門・技術サービス業]では「雇用が不安定」(16.3%)、[宿泊業、飲食サービス業]では「安全や衛生等の職場環境がよくない」(12.5%)が全体と比べて 5 ポイント以上高くなりました。不満がある人の割合が最も高くなったのは[金融業、保険業](75.8%)で、[運輸業、郵便業](74.7%)、[建設業](74.2%)が続きました。

仕事・職場に対する不満 [複数回答形式] 対象:現在働いている人

		n数	賃金が低い	人間関係がよくない	会社の将来に不安がある	労働条件(賃金以外)がよくない	仕事の内容	能力・実績が正当に評価されない	雇用が不安定	様々な経験が積めない	安全や衛生等の職場環境がよくない	その他	特に不満はない	不満がある
全体		1466	31.2	16.3	14.9	14.7	13.6	11.7	8.9	7.9	6.8	1.0	33.8	66.2
業種	建設業	62	29.0	21.0	25.8	12.9	14.5	11.3	6.5	4.8	4.8	1.6	25.8	74.2
	製造業	230	29.1	21.7	18.3	15.7	17.8	13.5	9.6	10.0	8.3	0.4	30.0	70.0
	情報通信業	75	30.7	6.7	20.0	12.0	17.3	14.7	9.3	12.0	6.7	-	34.7	65.3
	運輸業、郵便業	79	34.2	16.5	20.3	16.5	12.7	12.7	5.1	7.6	7.6	2.5	25.3	74.7
	卸売業、小売業	163	36.2	16.6	13.5	13.5	14.1	13.5	6.1	7.4	5.5	0.6	36.2	63.8
	金融業、保険業	66	34.8	21.2	18.2	13.6	15.2	13.6	13.6	9.1	6.1	1.5	24.2	75.8
	学術研究、専門・技術サービス業	49	26.5	8.2	12.2	16.3	10.2	6.1	16.3	4.1	6.1	-	44.9	55.1
	宿泊業、飲食サービス業	72	29.2	19.4	9.7	12.5	9.7	4.2	8.3	11.1	12.5	-	40.3	59.7
	生活関連サービス業、娯楽業	55	29.1	7.3	16.4	18.2	3.6	10.9	9.1	7.3	9.1	-	41.8	58.2
	教育、学習支援	100	38.0	14.0	10.0	18.0	9.0	12.0	7.0	2.0	5.0	-	33.0	67.0
	医療、福祉	178	36.0	18.5	12.4	16.3	14.6	8.4	6.7	6.2	8.4	2.8	32.6	67.4
	サービス業	190	30.0	16.8	14.2	14.2	14.7	12.1	13.2	10.0	6.3	2.1	38.9	61.1
	公務	71	22.5	9.9	2.8	12.7	12.7	12.7	5.6	8.5	-	-	42.3	57.7
	その他	76	21.1	11.8	15.8	10.5	10.5	13.2	9.2	6.6	5.3	-	26.3	73.7
女性・業種	建設業	62	43.8	18.8	25.0	6.3	12.5	6.3	6.3	-	-	6.3	6.3	93.7
	製造業	230	28.6	18.6	15.7	10.0	20.0	10.0	11.4	10.0	8.6	-	34.3	65.7
	情報通信業	75	31.6	10.5	26.3	10.5	10.5	10.5	5.3	-	5.3	-	36.8	63.2
	運輸業、郵便業	79	31.8	13.6	18.2	9.1	13.6	31.8	13.6	22.7	9.1	9.1	18.2	81.8
	卸売業、小売業	163	39.3	20.2	11.2	15.7	10.1	12.4	5.6	9.0	4.5	1.1	32.6	67.4
	金融業、保険業	66	44.8	13.8	20.7	13.8	13.8	6.9	24.1	17.2	13.8	3.4	20.7	79.3
	学術研究、専門・技術サービス業	49	35.3	11.8	17.6	11.8	-	17.6	35.3	5.9	5.9	-	47.1	52.9
	宿泊業、飲食サービス業	72	26.1	13.0	10.9	15.2	6.5	2.2	8.7	10.9	13.0	-	41.3	58.7
	生活関連サービス業、娯楽業	55	26.5	8.8	14.7	17.6	2.9	11.8	5.9	8.8	8.8	-	38.2	61.8
	教育、学習支援	100	39.0	13.6	6.8	13.6	6.8	8.5	6.8	-	3.4	-	39.0	61.0
	医療、福祉	178	33.9	15.7	8.3	13.2	14.0	5.8	8.3	5.8	5.8	1.7	34.7	65.3
	サービス業	190	27.5	16.7	13.7	13.7	12.7	13.7	16.7	11.8	7.8	3.9	37.3	62.7
	公務	71	13.3	20.0	-	6.7	20.0	-	13.3	13.3	-	-	40.0	60.0
	その他	76	22.7	13.6	13.6	18.2	4.5	4.5	13.6	13.6	-	-	22.7	77.3
男性・業種	建設業	62	23.9	21.7	26.1	15.2	15.2	13.0	6.5	6.5	6.5	-	32.6	67.4
	製造業	230	29.4	23.1	19.4	18.1	16.9	15.0	8.8	10.0	8.1	0.6	28.1	71.9
	情報通信業	75	30.4	5.4	17.9	12.5	19.6	16.1	10.7	16.1	7.1	-	33.9	66.1
	運輸業、郵便業	79	35.1	17.5	21.1	19.3	12.3	5.3	1.8	1.8	7.0	-	28.1	71.9
	卸売業、小売業	163	32.4	12.2	16.2	10.8	18.9	14.9	6.8	5.4	6.8	-	40.5	59.5
	金融業、保険業	66	27.0	27.0	16.2	13.5	16.2	18.9	5.4	2.7	-	-	27.0	73.0
	学術研究、専門・技術サービス業	49	21.9	6.3	9.4	18.8	15.6	-	6.3	3.1	6.3	-	43.8	56.2
	宿泊業、飲食サービス業	72	34.6	30.8	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	11.5	11.5	-	38.5	61.5
	生活関連サービス業、娯楽業	55	33.3	4.8	19.0	19.0	4.8	9.5	14.3	4.8	9.5	-	47.6	52.4
	教育、学習支援	100	36.6	14.6	14.6	24.4	12.2	17.1	7.3	4.9	7.3	-	24.4	75.6
	医療、福祉	178	40.4	24.6	21.1	22.8	15.8	14.0	3.5	7.0	14.0	5.3	28.1	71.9
	サービス業	190	33.0	17.0	14.8	14.8	17.0	10.2	9.1	8.0	4.5	-	40.9	59.1
	公務	71	25.0	7.1	3.6	14.3	10.7	16.1	3.6	7.1	-	-	42.9	57.1
	その他	76	20.4	11.1	16.7	7.4	13.0	16.7	7.4	3.7	7.4	-	27.8	72.2

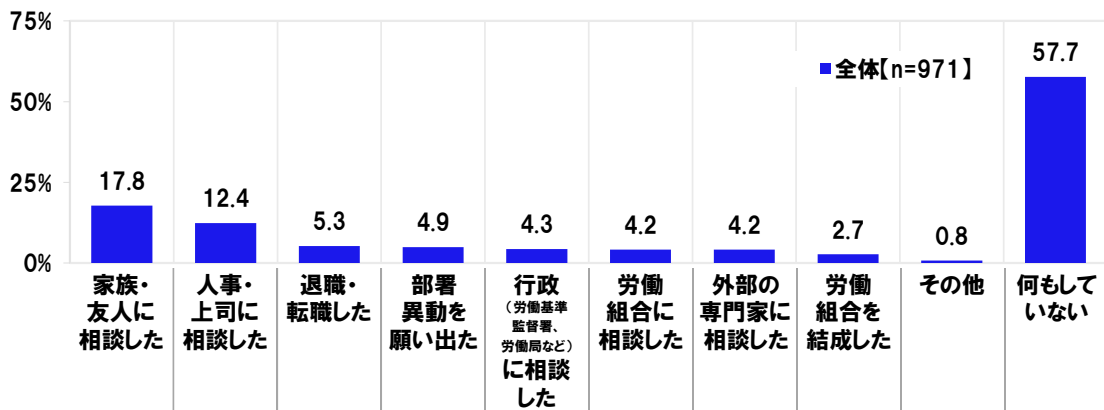
*属性ごとの1位はオレンジ塗り、「不満がある」の業種別TOP3は黄色塗り

(%)

◆有職者が仕事・職場の不満解消のためにとった行動「家族・友人に相談」17.8%、「何もしていない」57.7%
 「行政に相談」は4.3%、「労働組合に相談した」は4.2%と低い結果に
 ◆仕事・職場の不満解消のため行動していない理由 1位「不満の解消は諦めている」

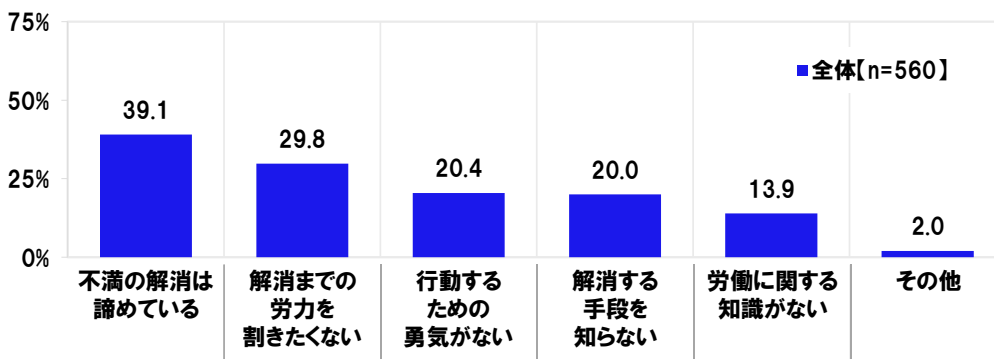
現在働いている人で、仕事・職場に対する不満がある人(971名)に、仕事・職場の不満を解消するためにどのような行動をしたか聞いたところ、「家族・友人に相談した」(17.8%)と「人事・上司に相談した」(12.4%)が高くなり、「退職・転職した」(5.3%)、「部署異動を願い出た」(4.9%)、「行政(労働基準監督署、労働局など)に相談した」(4.3%)、「労働組合に相談した」「外部の専門家に相談した」(いずれも4.2%)などは1割に満たない結果となりました。また、「何もしていない」は57.7%と、半数以上の人は不満を感じていても具体的な対策をとれていないことがわかりました。

仕事・職場の不満を解消するためにどのような行動をしたか [複数回答形式]
 対象:現在働いている人で、仕事・職場に対する不満がある人



現在働いている人で、仕事・職場の不満を解消するために行動していない人(560名)に、行動していない理由を聞いたところ、「不満の解消は諦めている」(39.1%)が最も高くなり、「解消までの労力を割きたくない」(29.8%)、「行動するための勇気がない」(20.4%)が続きました。また、「解消する手段を知らない」(20.0%)、「労働に関する知識がない」(13.9%)との回答もみられ、知識や情報が不足しているために、不満解消のための行動をとれていないケースがあるようです。

仕事・職場の不満を解消するために行動していない理由 [複数回答形式]
 対象:現在働いている人で、仕事・職場の不満を解消するために行動していない人



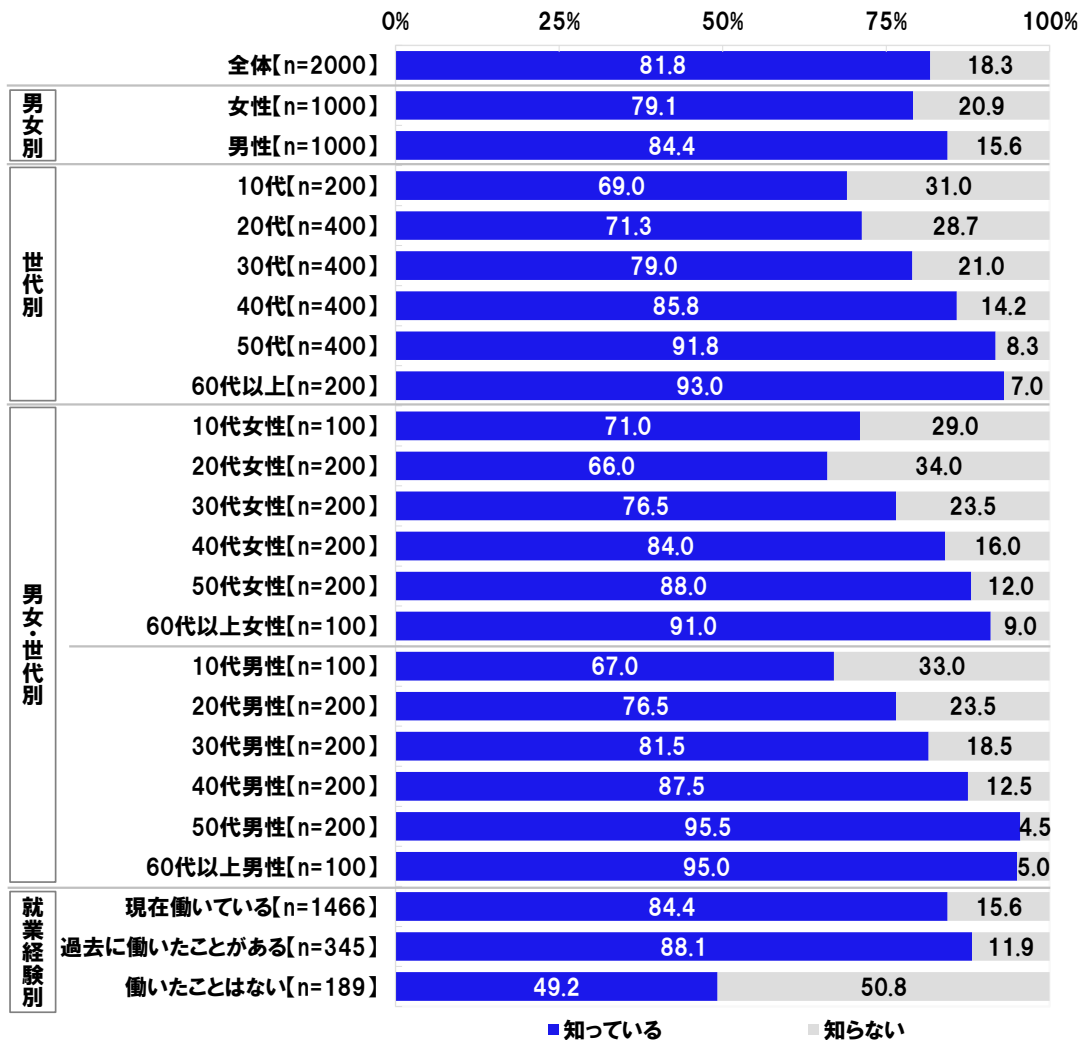
《労働組合について》
**◆労働組合の認知率は81.8%、10代では69.0%
働いたことがない人では49.2%**

全国の15歳以上の男女2,000名(全回答者)に、『“労働組合”は、働く人が主体となって、賃金や働く環境を向上させるために、経営者などに対して法律上対等な立場で交渉ができる団体である』と説明したうえで、労働組合を知っているか聞いたところ、「知っている」は81.8%、「知らない」は18.3%となりました。

男女別にみると、認知率(「知っている」と回答した人の割合)は、男性では84.4%と、女性(79.1%)と比べて5.3ポイント高くなりました。

世代別にみると、認知率は上の世代ほど高くなる傾向がみられ、最も低い10代(69.0%)と最も高い60代以上(93.0%)の間には24.0ポイントの差がみられました。

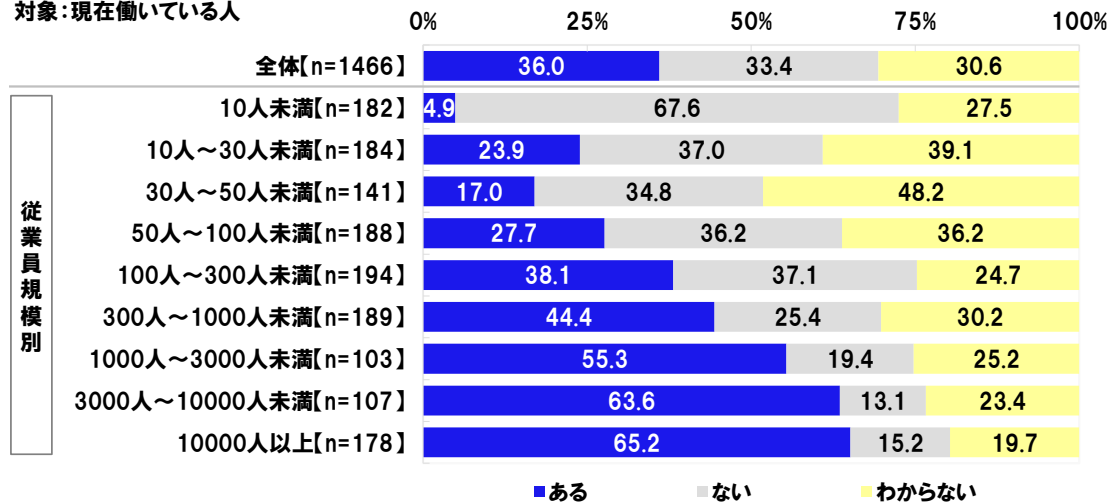
就業経験別にみると、認知率は働いたことがない人では49.2%と、現在働いている人(84.4%)や過去に働いたことがある人(88.1%)と比べて低くなりました。

労働組合を知っているか [単一回答形式]


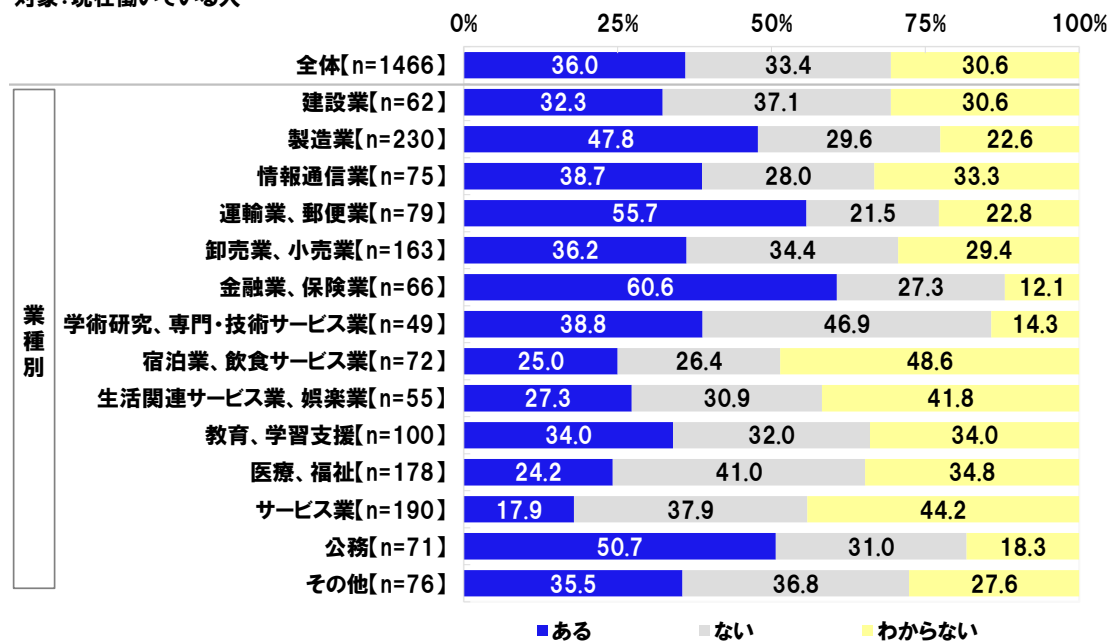
◆「勤務先に労働組合がある」36.0%、従業員規模 10 人未満の職場では 4.9%

現在働いている人(1,466 名)に、勤務先に労働組合があるか聞いたところ、「ある」は 36.0%、「ない」は 33.4%、「わからない」は 30.6%となりました。

従業員規模別にみると、「ある」と回答した人の割合は、従業員規模が大きくなるほど高くなる傾向がみられ、従業員規模 10 人未満では 4.9%、従業員規模 10000 人以上では 65.2%でした。

勤務先に労働組合があるか [単一回答形式]
対象:現在働いている人


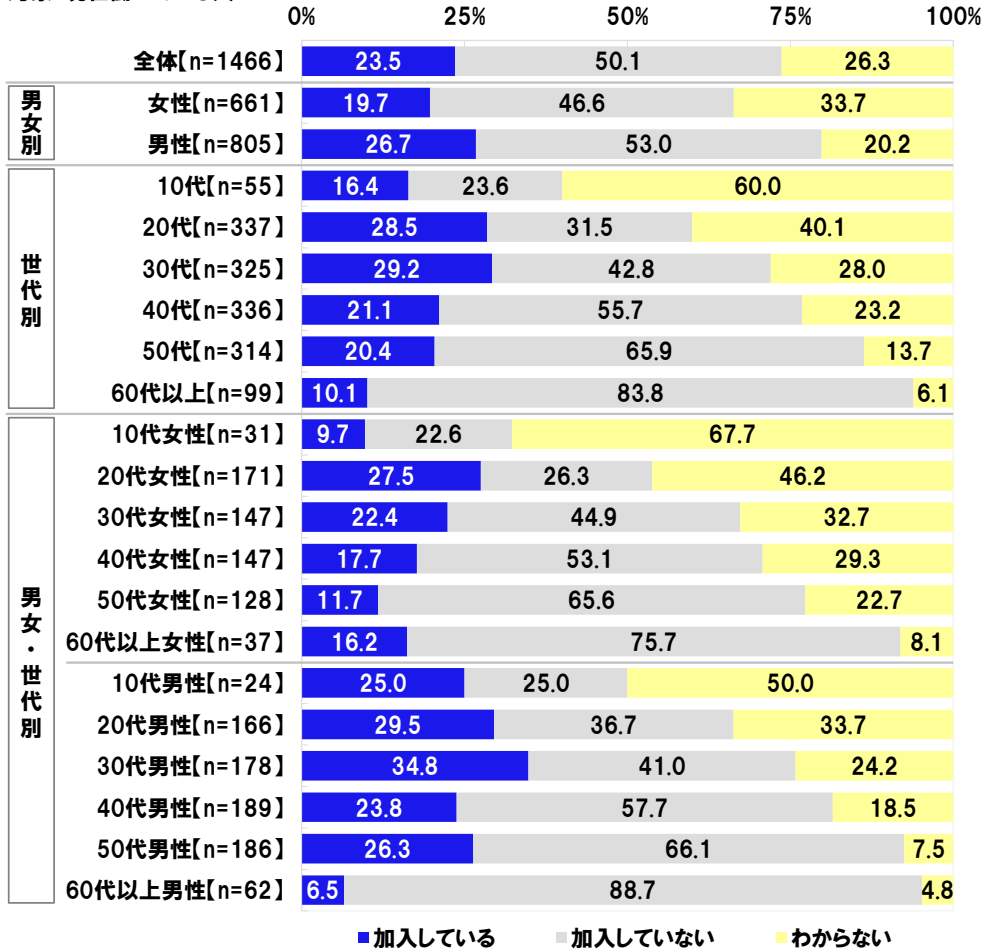
業種別にみると、「ある」と回答した人の割合は、[金融業、保険業](60.6%)が最も高くなり、[運輸業、郵便業](55.7%)、[公務](50.7%)が続きました。

勤務先に労働組合があるか [単一回答形式]
対象:現在働いている人


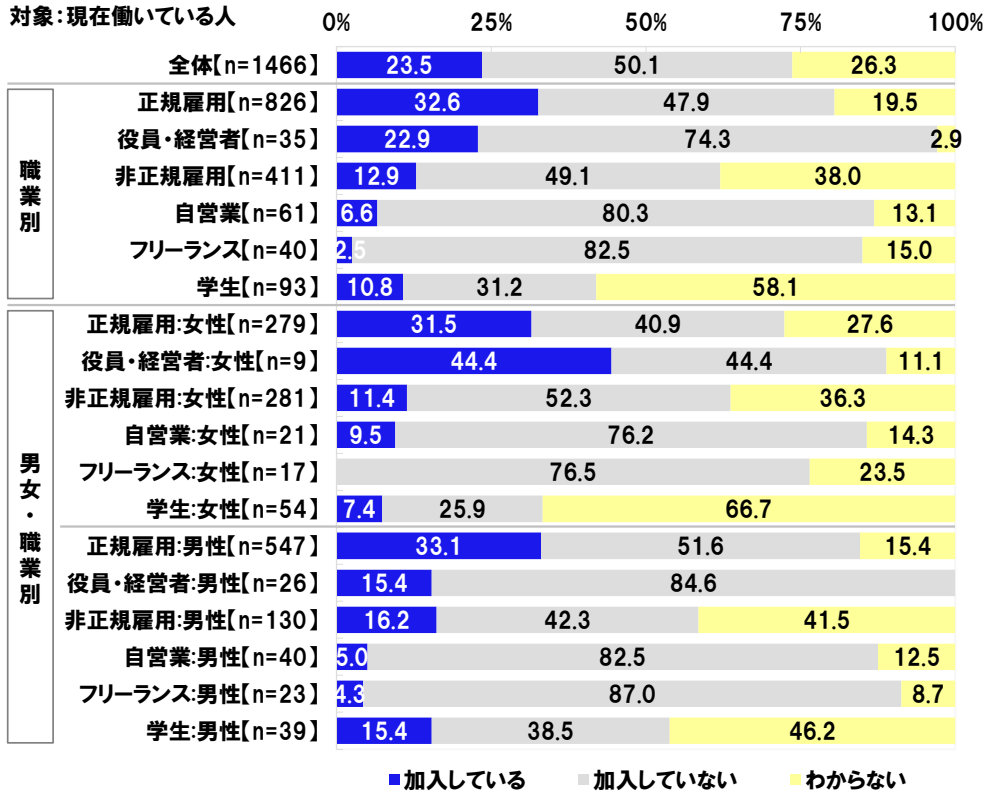
◆有職者の勤務先での労働組合加入率は23.5%、30代では29.2%

現在働いている人(1,466名)に、勤務先で労働組合に加入しているか聞いたところ、「加入している」は23.5%、「加入していない」は50.1%、「わからない」は26.3%となりました。

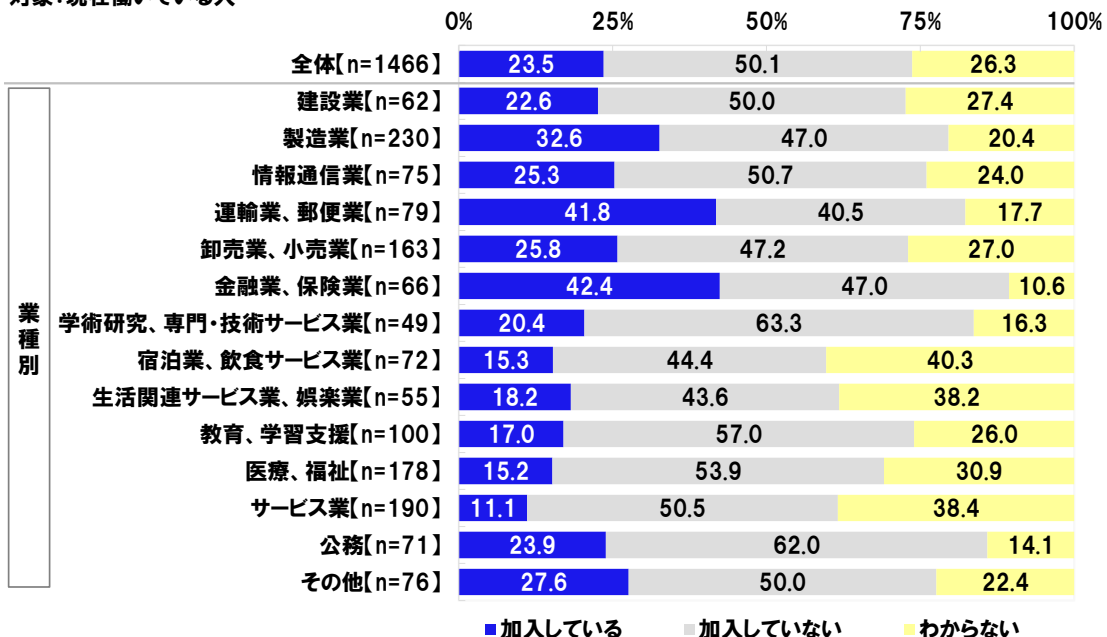
世代別にみると、「加入している」と回答した人の割合は、20代(28.5%)と30代(29.2%)で高くなりました。また、「わからない」は若い世代ほど高い傾向がみられました。

勤務先で労働組合に加入しているか [単一回答形式]
対象:現在働いている人


職業別にみると、「加入している」と回答した人の割合は、非正規雇用で働いている人では 12.9%と、正規雇用で働いている人（正社員・正職員）（32.6%）と比べて低くなりました。また、非正規雇用で働いている人では「わからない」が 38.0%と、自身の労働組合への加入状況を把握していない人も少なくないことがわかりました。

勤務先で労働組合に加入しているか [単一回答形式]
対象:現在働いている人


業種別にみると、「加入している」と回答した人の割合は、[金融業、保険業]（42.4%）が最も高くなり、[運輸業、郵便業]（41.8%）、[製造業]（32.6%）が続きました。

勤務先で労働組合に加入しているか [単一回答形式]
対象:現在働いている人


《連合について》
◆連合の認知率は52.3%、女性46.0%、男性58.5%

全回答者(2,000名)に、『日本労働組合総連合会(通称:連合)は、日本最大の労働組合の中央組織(会長:芳野友子、加盟組合員:約700万人)である』と説明したうえで、連合を知っているか聞いたところ、「どのような組織か知っている」は18.5%、「名前を聞いたことがある」は33.8%となり、合計した『知っている(計)』は52.3%となりました。また、「知らない」は47.8%でした。

男女別にみると、認知率(『知っている(計)』の割合)は男性では58.5%と、女性(46.0%)と比べて12.5ポイント高くなりました。

男女・世代別にみると、認知率が最も高いのは60代以上男性(72.0%)、最も低いのは40代女性(40.5%)でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)を知っているか [単一回答形式]

		0%	25%	50%	75%	100%	知っている(計)		
							今回調査	前回調査	
全体[n=2000]		18.5	33.8		47.8		52.3	56.6	
男女別	女性[n=1000]	12.7	33.3		54.0		46.0	49.4	
	男性[n=1000]	24.3	34.2		41.5		58.5	63.8	
世代別	10代[n=200]	14.5	29.0		56.5		43.5	52.5	
	20代[n=400]	24.3	30.8		45.0		55.0	50.8	
	30代[n=400]	18.0	32.8		49.3		50.7	57.0	
	40代[n=400]	15.8	34.0		50.2		49.8	53.8	
	50代[n=400]	17.8	35.0		47.3		52.8	60.3	
	60代以上[n=200]	19.0	43.5		37.5		62.5	70.0	
男女世代別	10代女性[n=100]	11.0	31.0		58.0		42.0	51.0	
	20代女性[n=200]	18.5	29.0		52.5		47.5	43.5	
	30代女性[n=200]	11.5	35.0		53.5		46.5	51.5	
	40代女性[n=200]	11.0	29.5		59.5		40.5	46.0	
	50代女性[n=200]	13.0	35.0		52.0		48.0	48.5	
	60代以上女性[n=100]	8.0	45.0		47.0		53.0	64.0	
	10代男性[n=100]	18.0	27.0		55.0		45.0	54.0	
	20代男性[n=200]	30.0	32.5		37.5		62.5	58.0	
	30代男性[n=200]	24.5	30.5		45.0		55.0	62.5	
	40代男性[n=200]	20.5	38.5		41.0		59.0	61.5	
	50代男性[n=200]	22.5	35.0		42.5		57.5	72.0	
	60代以上男性[n=100]	30.0	42.0		28.0		72.0	76.0	
	就業経験別	現在働いている[n=1466]	21.1	33.5		45.4		54.6	57.7
		過去に働いたことがある[n=345]	12.8	39.4		47.8		52.2	54.6
働いたことはない[n=189]		8.5	25.4		66.1		33.9	51.0	

■ どのような組織か知っている ■ 名前を聞いたことがある ■ 知らない

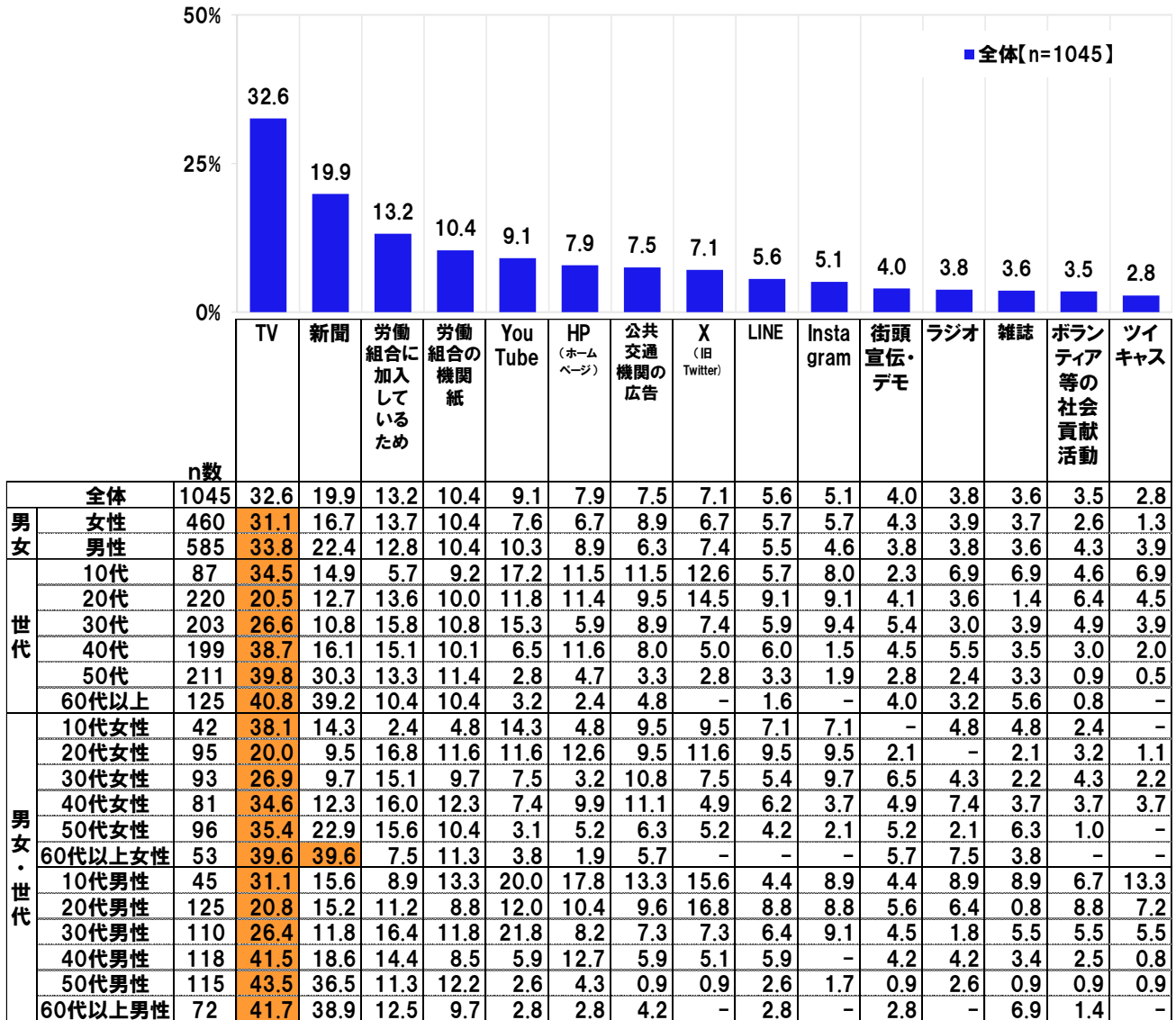
※前回調査:『連合および労働組合のイメージ調査』(2023年4月6日発表)

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20230406.pdf?6584>

◆連合の認知経路 1位「TV」2位「新聞」、10代では「YouTube」、20代では「X」が2位に

連合を知っている人(1,045名)に、連合を何で知ったか聞いたところ、「TV」(32.6%)が最も高くなり、「新聞」(19.9%)、「労働組合に加入しているため」(13.2%)、「労働組合の機関紙」(10.4%)、「YouTube」(9.1%)が続きました。

世代別にみると、10代では「TV」(34.5%)に続いて「YouTube」(17.2%)が2位、20代では「TV」(20.5%)に続いて「X(旧 Twitter)」(14.5%)が2位となりました。若年層には、YouTubeの動画やSNSを通して、連合に関する情報に触れた人が多いようです。

日本労働組合総連合会(通称:連合)を何で知ったか [複数回答形式] ※上位15位までを表示
対象: 連合を知っている人


*1位はオレンジ塗り

(%)

◆**連合の取り組みとして知っているもの 1位「春闘の実施」2位「労働組合づくり支援・労働相談の実施」**
10代では「労働組合づくり支援・労働相談の実施」が1位に

連合を知っている人(1,045名)に、連合の取り組みとして知っているものを聞いたところ、「春闘(春季生活闘争)の実施」(25.0%)が最も高くなり、「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(20.3%)、「政府・政党などへの政策・制度要請」「政治・選挙活動」(いずれも15.9%)、「非正規雇用の問題解決に向けた取り組み」(15.1%)が続きました。

男女別にみると、「政治・選挙活動」(女性11.7%、男性19.1%)は、男女間で7.4ポイントの差がみられる結果となりました。

世代別にみると、10代では「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(26.4%)が1位、「非正規雇用の問題解決に向けた取り組み」(25.3%)が2位でした。20代では「春闘(春季生活闘争)の実施」「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(いずれも16.8%)が同率1位となりました。

日本労働組合総連合会(通称:連合)の取り組みとして知っているもの [複数回答形式]
 対象:連合を知っている人

*1位はオレンジ塗り

	0%	25%	50%	女性	男性	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
				(n=460)	(n=585)	(n=87)	(n=220)	(n=203)	(n=199)	(n=211)	(n=125)
春闘(春季生活闘争)の実施		25.0	-1.7	22.4	27.0	17.2	16.8	20.7	22.6	35.1	38.4
労働組合づくり支援・労働相談の実施		20.3	-4.4	21.1	19.7	26.4	16.8	15.3	18.1	24.6	26.4
政府・政党などへの政策・制度要請		15.9	+0.6	15.2	16.4	16.1	14.5	11.3	12.6	19.9	24.0
政治・選挙活動		15.9	-0.6	11.7	19.1	16.1	13.2	11.8	14.1	19.0	24.8
非正規雇用の問題解決に向けた取り組み		15.1	-1.7	17.6	13.2	25.3	14.5	10.8	11.6	18.5	16.0
社会保障・税制・教育制度に関する取り組み		13.9	-1.8	15.0	13.0	17.2	11.8	12.8	14.1	13.3	17.6
労働政策に関する政府審議会への参画		13.8	-0.6	12.8	14.5	17.2	14.1	11.8	13.1	13.7	15.2
労働組合の国際的連携の推進		10.9	-0.7	10.4	11.3	12.6	10.0	11.3	10.1	12.3	9.6
ジェンダー平等・多様性の推進		10.4	-0.3	11.5	9.6	13.8	13.6	8.4	8.5	9.5	10.4
フリーランスの法的保護に向けた取り組み		9.9	+1.6	9.6	10.1	8.0	8.2	9.9	7.5	13.7	11.2
災害支援・ボランティア活動、社会貢献活動		8.3	+0.2	8.5	8.2	14.9	9.1	6.9	8.5	7.6	5.6
環境問題の解決に向けた取り組み		7.5	-0.1	6.5	8.2	10.3	8.2	6.9	5.0	9.0	6.4
平和運動・核兵器廃絶への取り組み		7.1	-0.2	6.1	7.9	5.7	8.6	6.9	6.0	8.1	5.6
大学等への出前授業の実施		5.1	+0.4	4.1	5.8	6.9	9.1	3.4	4.0	4.7	1.6
その他		0.1	+0.1	-	0.2	-	0.5	-	-	-	-
全くわからない		28.5	+0.5	30.4	27.0	24.1	22.7	32.0	35.7	25.6	29.6

■全体[n=1045]

*前回調査比
(pts)

男女・世代別にみると、10代女性と20代女性では、「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(順に26.2%、16.8%)と「非正規雇用の問題解決に向けた取り組み」(順に26.2%、16.8%)が同率1位でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)の取り組みとして
 知っているもの〔複数回答形式〕
 対象:連合を知っている人

*1位はオレンジ塗り

	10代 女性 (n=42)	20代 女性 (n=95)	30代 女性 (n=93)	40代 女性 (n=81)	50代 女性 (n=96)	60代 以上 女性 (n=53)	10代 男性 (n=45)	20代 男性 (n=125)	30代 男性 (n=110)	40代 男性 (n=118)	50代 男性 (n=115)	60代 以上 男性 (n=72)
春闘(春季生活闘争)の実施	7.1	10.5	18.3	27.2	30.2	41.5	26.7	21.6	22.7	19.5	39.1	36.1
労働組合づくり支援・労働相談の実施	26.2	16.8	15.1	21.0	28.1	22.6	26.7	16.8	15.5	16.1	21.7	29.2
政府・政党などへの政策・制度要請	9.5	14.7	8.6	14.8	19.8	24.5	22.2	14.4	13.6	11.0	20.0	23.6
政治・選挙活動	9.5	9.5	7.5	9.9	13.5	24.5	22.2	16.0	15.5	16.9	23.5	25.0
非正規雇用の問題解決に向けた取り組み	26.2	16.8	11.8	16.0	21.9	17.0	24.4	12.8	10.0	8.5	15.7	15.3
社会保障・税制・教育制度に関する取り組み	16.7	10.5	11.8	16.0	18.8	18.9	17.8	12.8	13.6	12.7	8.7	16.7
労働政策に関する政府審議会への参画	19.0	15.8	12.9	8.6	12.5	9.4	15.6	12.8	10.9	16.1	14.8	19.4
労働組合の国際的連携の推進	11.9	11.6	6.5	11.1	13.5	7.5	13.3	8.8	15.5	9.3	11.3	11.1
ジェンダー平等・多様性の推進	14.3	15.8	10.8	7.4	9.4	13.2	13.3	12.0	6.4	9.3	9.6	8.3
フリーランスの法的保護に向けた取り組み	4.8	8.4	10.8	7.4	12.5	11.3	11.1	8.0	9.1	7.6	14.8	11.1
災害支援・ボランティア活動、社会貢献活動	16.7	8.4	6.5	8.6	6.3	9.4	13.3	9.6	7.3	8.5	8.7	2.8
環境問題の解決に向けた取り組み	7.1	5.3	5.4	7.4	7.3	7.5	13.3	10.4	8.2	3.4	10.4	5.6
平和運動・核兵器廃絶への取り組み	4.8	7.4	4.3	6.2	5.2	9.4	6.7	9.6	9.1	5.9	10.4	2.8
大学等への出前授業の実施	4.8	7.4	1.1	4.9	4.2	1.9	8.9	10.4	5.5	3.4	5.2	1.4
その他	-	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-	-
全くわからない	28.6	27.4	35.5	34.6	26.0	30.2	20.0	19.2	29.1	36.4	25.2	29.2

◆連合のイメージ 1位「伝統的だ」2位「影響力のある」3位「保守的な」4位「真面目な」5位「堅実な」

連合を知っている人(1,045名)に、連合についてどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「伝統的だ」(15.2%)が最も高く、「影響力のある」(14.7%)、「保守的な」(14.4%)、「真面目な」(13.2%)、「堅実な」(12.6%)が続きました。

男女別にみると、女性では「真面目な」(17.8%)が1位、「堅実な」(15.2%)が2位となりました。

日本労働組合総連合会(通称:連合)についてどのようなイメージを持っているか
 [複数回答形式] 対象:連合を知っている人

*1位はオレンジ塗り

	0%	15%	30%	女性 (n=460)	男性 (n=585)	10代 (n=87)	20代 (n=220)	30代 (n=203)	40代 (n=199)	50代 (n=211)	60代 以上 (n=125)
伝統的だ	15.2	-2.3	13.5	16.6	6.9	12.7	14.3	12.6	21.3	20.8	
影響力のある	14.7	-0.5	13.3	15.9	14.9	12.7	11.3	16.1	15.6	20.0	
保守的な	14.4	-4.4	14.3	14.4	12.6	12.7	15.3	15.1	14.7	15.2	
真面目な	13.2	-0.6	17.8	9.6	20.7	15.9	16.3	9.5	10.0	9.6	
堅実な	12.6	-1.0	15.2	10.6	20.7	15.0	11.8	13.6	9.5	8.0	
頼れる	11.5	+0.6	13.9	9.6	20.7	13.2	10.3	8.0	10.9	10.4	
熱意のある	11.3	-0.3	12.4	10.4	12.6	7.7	6.9	13.1	15.6	13.6	
信頼できる	10.5	-0.5	10.9	10.3	12.6	12.3	6.4	9.0	12.8	11.2	
安心感がある	8.9	+0.9	10.7	7.5	11.5	10.0	9.9	7.5	8.1	7.2	
たくましい	8.0	+1.6	9.8	6.7	14.9	9.1	5.4	9.5	6.6	5.6	
庶民的な	7.8	-1.1	8.7	7.2	12.6	4.5	7.9	6.0	9.0	11.2	
対応力のある	7.4	-0.6	7.2	7.5	11.5	10.5	5.9	7.5	5.2	4.8	
自分たち向けの	7.1	+2.0	7.2	7.0	9.2	9.1	6.4	6.0	5.7	7.2	
ダサイ	6.2	+0.7	4.1	7.9	6.9	5.5	5.9	9.0	3.3	8.0	
親しみやすい	5.5	+2.0	4.6	6.2	6.9	9.1	3.9	4.5	4.3	4.0	
革新的だ	5.4	+1.2	5.9	5.0	9.2	7.3	4.4	8.0	1.9	2.4	
身近だ	5.3	+1.4	5.7	5.0	9.2	7.7	4.9	2.0	6.2	2.4	
落ち着いた	5.2	+1.4	5.2	5.1	8.0	10.5	5.9	3.0	2.4	0.8	
グローバルな	4.1	+1.0	4.6	3.8	11.5	6.8	1.5	2.0	4.3	1.6	
知的な	4.1	+0.8	3.9	4.3	9.2	6.4	3.9	3.5	1.4	2.4	
慎ましい	3.7	+1.8	3.3	4.1	6.9	5.9	2.0	5.5	1.4	1.6	
等身大の	3.6	+1.8	3.3	3.9	5.7	6.8	3.0	1.5	2.8	2.4	
やさしい	3.6	+0.8	3.0	4.1	3.4	5.5	7.9	2.5	0.5	0.8	
カジュアルな	3.3	+1.8	4.1	2.6	6.9	4.5	2.5	4.0	1.9	0.8	
開放的な	3.3	+0.6	3.0	3.6	4.6	4.5	3.4	5.5	0.9	0.8	
若々しい	3.3	+1.2	3.9	2.9	5.7	5.9	4.9	1.5	1.4	0.8	
生き生きとした	3.3	+0.8	3.3	3.2	5.7	5.9	2.0	3.0	1.9	1.6	
爽やかな	2.1	+0.3	2.0	2.2	6.9	2.3	1.5	2.0	0.9	1.6	
その他	7.6	-1.3	4.6	9.9	1.1	4.1	4.9	11.1	11.4	10.4	

■全体[n=1045] *前回調査比(pts)

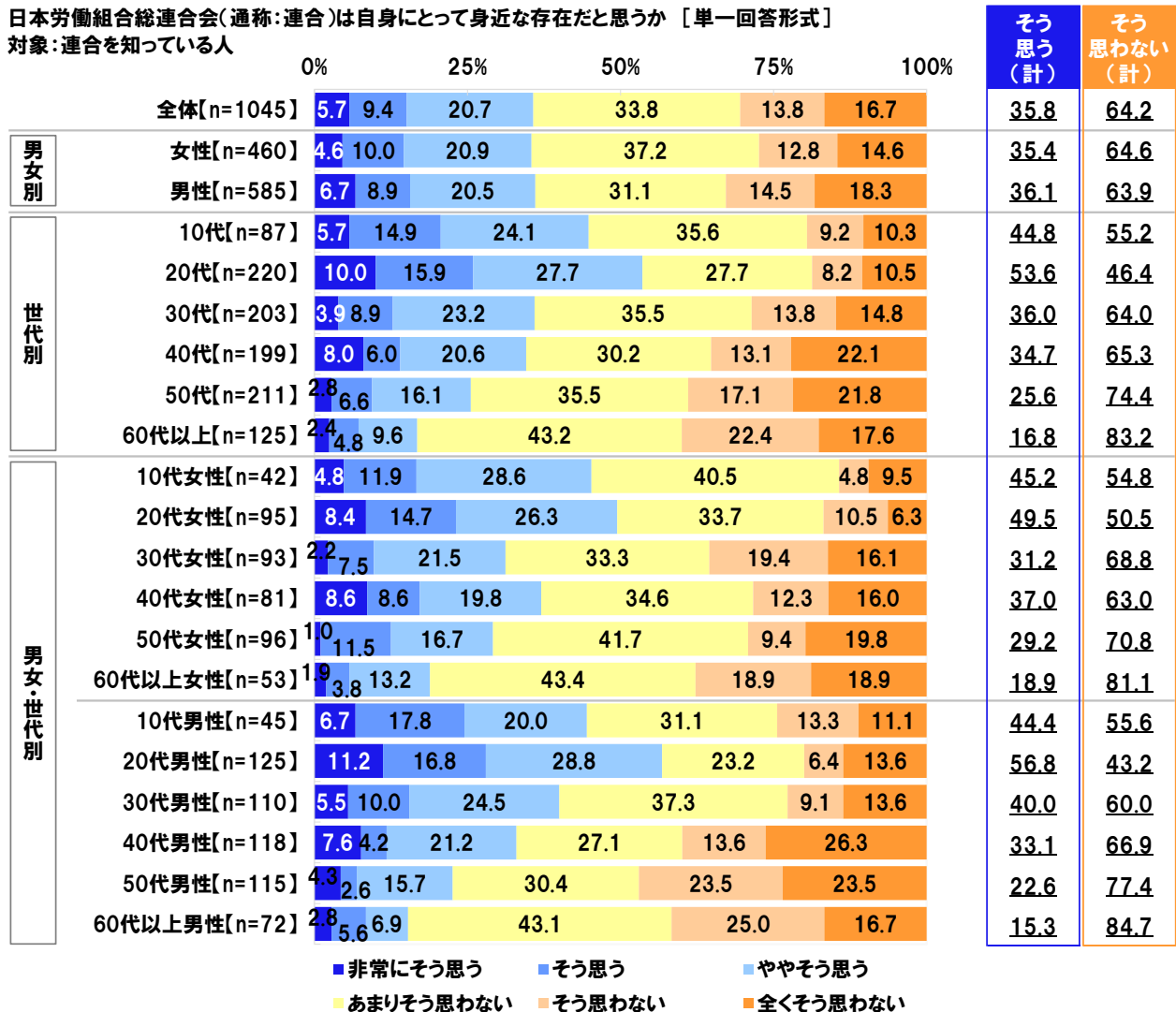
日本労働組合総連合会(通称:連合)についてどのようなイメージを持っているか
***1位はオレンジ塗り**
[複数回答形式]
対象:連合を知っている人

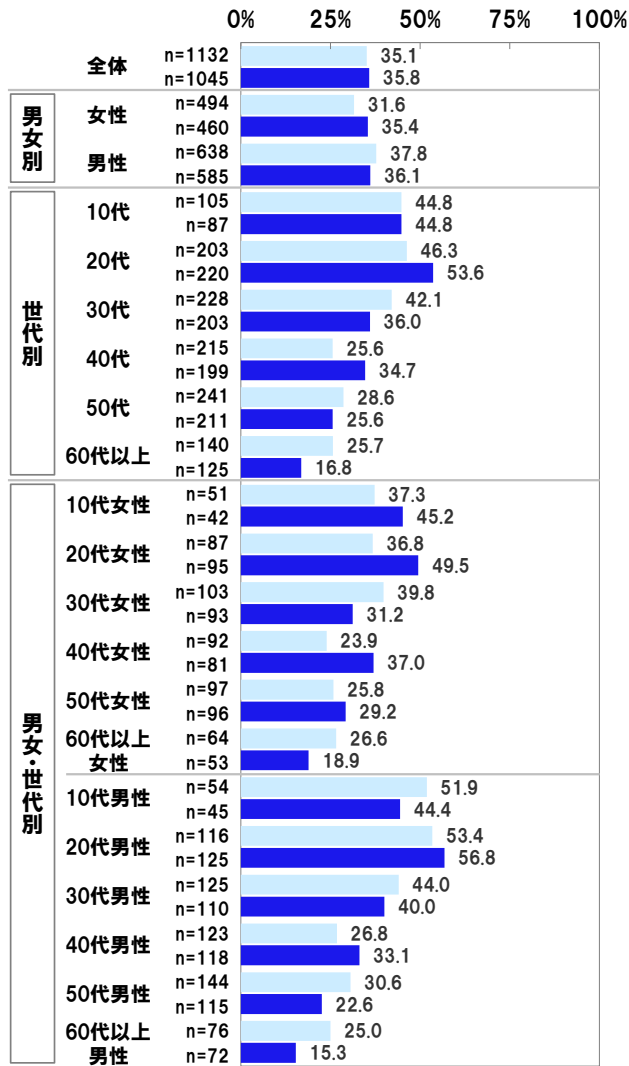
	10代 女性 (n=42)	20代 女性 (n=95)	30代 女性 (n=93)	40代 女性 (n=81)	50代 女性 (n=96)	60代 以上 女性 (n=53)	10代 男性 (n=45)	20代 男性 (n=125)	30代 男性 (n=110)	40代 男性 (n=118)	50代 男性 (n=115)	60代 以上 男性 (n=72)
伝統的だ	-	8.4	12.9	12.3	21.9	20.8	13.3	16.0	15.5	12.7	20.9	20.8
影響力のある	16.7	8.4	11.8	12.3	15.6	18.9	13.3	16.0	10.9	18.6	15.7	20.8
保守的な	11.9	13.7	20.4	18.5	9.4	9.4	13.3	12.0	10.9	12.7	19.1	19.4
真面目な	33.3	17.9	18.3	17.3	12.5	15.1	8.9	14.4	14.5	4.2	7.8	5.6
堅実な	21.4	17.9	14.0	21.0	10.4	7.5	20.0	12.8	10.0	8.5	8.7	8.3
頼れる	23.8	14.7	7.5	12.3	15.6	15.1	17.8	12.0	12.7	5.1	7.0	6.9
熱意のある	11.9	4.2	4.3	17.3	19.8	20.8	13.3	10.4	9.1	10.2	12.2	8.3
信頼できる	16.7	10.5	5.4	11.1	11.5	15.1	8.9	13.6	7.3	7.6	13.9	8.3
安心感がある	14.3	11.6	10.8	7.4	9.4	13.2	8.9	8.8	9.1	7.6	7.0	2.8
たくましい	11.9	9.5	6.5	12.3	9.4	11.3	17.8	8.8	4.5	7.6	4.3	1.4
庶民的な	16.7	4.2	5.4	8.6	10.4	13.2	8.9	4.8	10.0	4.2	7.8	9.7
対応力のある	9.5	11.6	5.4	7.4	4.2	5.7	13.3	9.6	6.4	7.6	6.1	4.2
自分たち向けの	7.1	5.3	7.5	8.6	6.3	9.4	11.1	12.0	5.5	4.2	5.2	5.6
ダサイ	2.4	6.3	3.2	6.2	2.1	3.8	11.1	4.8	8.2	11.0	4.3	11.1
親しみやすい	4.8	7.4	2.2	4.9	4.2	3.8	8.9	10.4	5.5	4.2	4.3	4.2
革新的だ	7.1	6.3	4.3	9.9	4.2	3.8	11.1	8.0	4.5	6.8	-	1.4
身近だ	7.1	6.3	6.5	2.5	6.3	5.7	11.1	8.8	3.6	1.7	6.1	-
落ち着いた	4.8	10.5	5.4	2.5	4.2	1.9	11.1	10.4	6.4	3.4	0.9	-
グローバルな	14.3	5.3	1.1	1.2	6.3	3.8	8.9	8.0	1.8	2.5	2.6	-
知的な	9.5	5.3	3.2	1.2	3.1	3.8	8.9	7.2	4.5	5.1	-	1.4
慎ましい	2.4	7.4	-	4.9	2.1	1.9	11.1	4.8	3.6	5.9	0.9	1.4
等身大の	2.4	4.2	3.2	1.2	3.1	5.7	8.9	8.8	2.7	1.7	2.6	-
やさしい	-	2.1	8.6	3.7	-	1.9	6.7	8.0	7.3	1.7	0.9	-
カジュアルな	2.4	5.3	4.3	6.2	3.1	1.9	11.1	4.0	0.9	2.5	0.9	-
開放的な	2.4	3.2	3.2	4.9	2.1	1.9	6.7	5.6	3.6	5.9	-	-
若々しい	4.8	6.3	5.4	2.5	2.1	1.9	6.7	5.6	4.5	0.8	0.9	-
生き生きとした	4.8	4.2	2.2	3.7	3.1	1.9	6.7	7.2	1.8	2.5	0.9	1.4
爽やかな	4.8	2.1	1.1	2.5	1.0	1.9	8.9	2.4	1.8	1.7	0.9	1.4
その他	-	3.2	3.2	4.9	5.2	11.3	2.2	4.8	6.4	15.3	16.5	9.7

◆「連合は身近な存在だと思う」連合認知者の35.8%、20代では53.6%

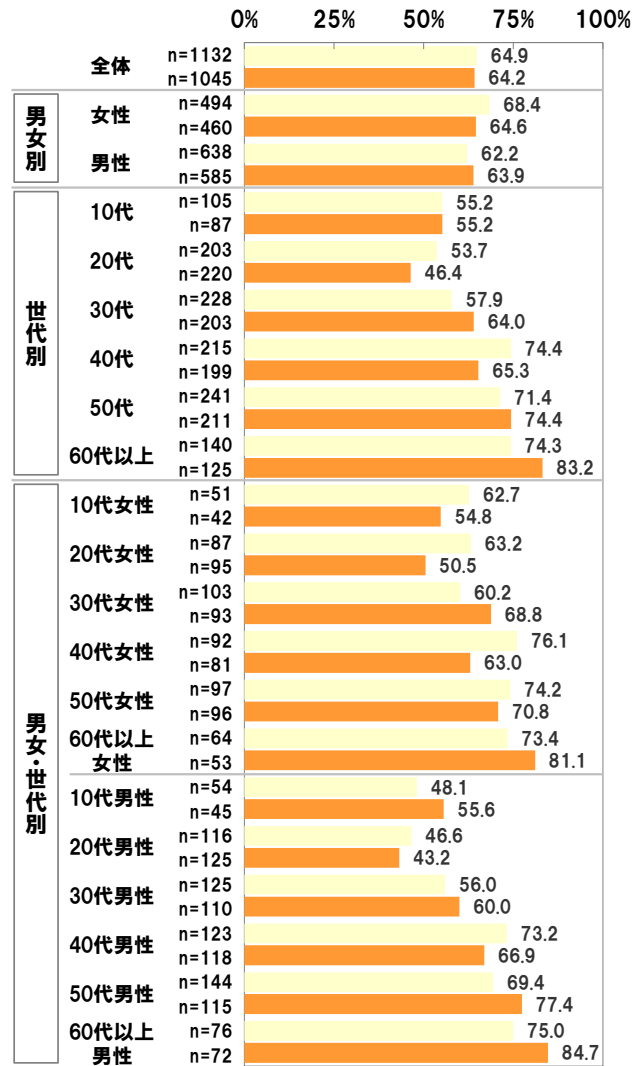
連合を知っている人(1,045名)に、連合は自身にとって身近な存在だと思うか聞いたところ、「非常にそう思う」が5.7%、「そう思う」が9.4%、「ややそう思う」が20.7%で、合計した『そう思う(計)』は35.8%、「全くそう思わない」が16.7%、「そう思わない」が13.8%、「あまりそう思わない」が33.8%で、合計した『そう思わない(計)』は64.2%となりました。

世代別にみると、『そう思う(計)』と回答した人の割合は若い世代のほうが高く、最も高い20代(53.6%)と最も低い60代以上(16.8%)の間には36.8ポイントの差がみられました。

日本労働組合総連合会(通称:連合)は自身にとって身近な存在だと思うか [単一回答形式]
対象: 連合を知っている人


※参考
**日本労働組合総連合会(通称:連合)が自身にとって
身近な存在だと思う人の割合 対象:連合を知っている人**


■ 前回調査 ■ 今回調査

**日本労働組合総連合会(通称:連合)が自身にとって
身近な存在だと思わない人の割合 対象:連合を知っている人**


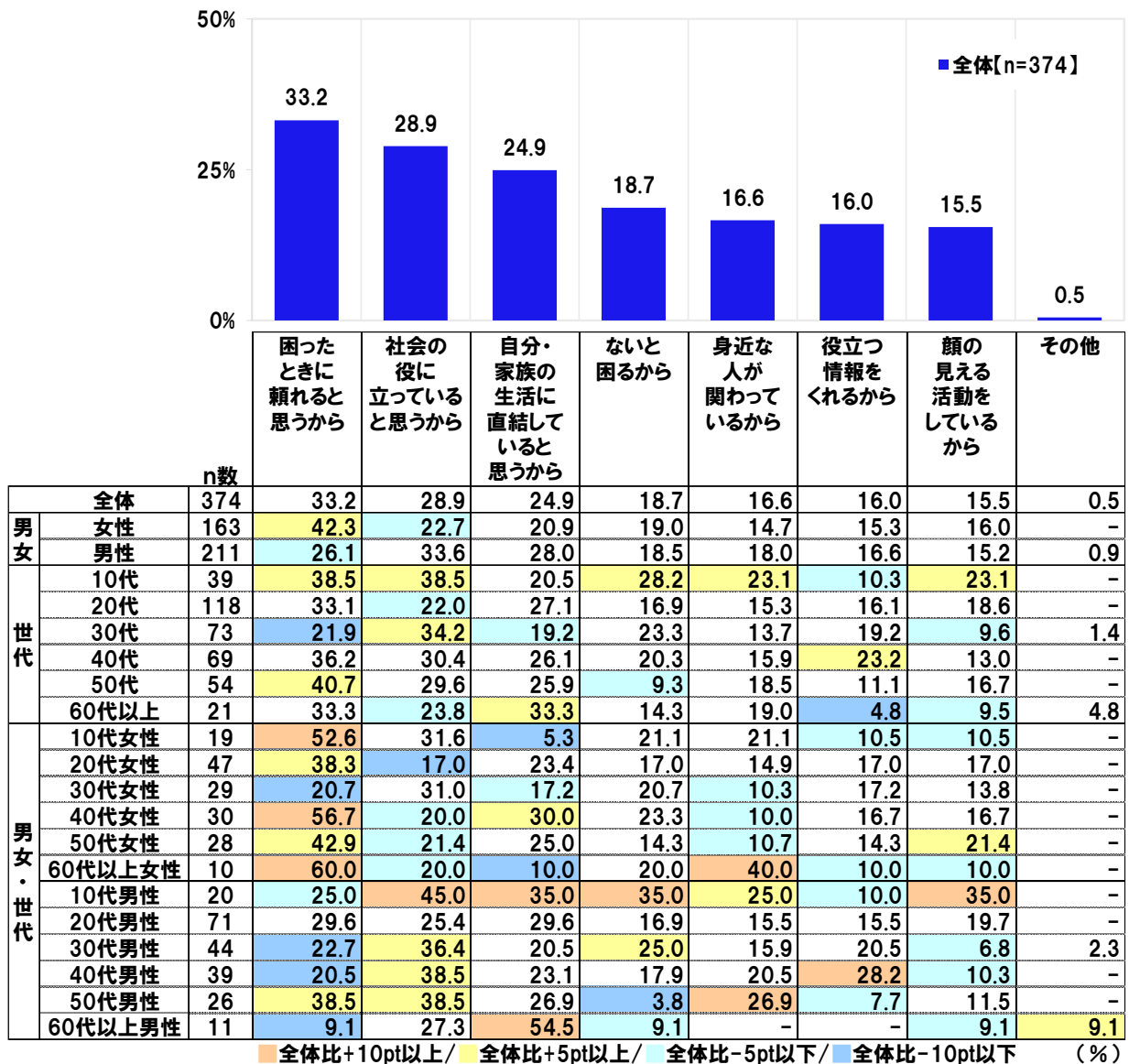
■ 前回調査 ■ 今回調査

◆連合が身近な存在だと思う理由 1位「困ったときに頼れる」、男性1位は「社会の役に立っている」
◆連合が身近な存在だと思わない理由 1位「身近に関わっている人がいない」

連合が身近な存在だと思う人(374名)に、その理由を聞いたところ、「困ったときに頼れると思うから」(33.2%)が最も高くなりました。働く上で問題が起きたときに頼りになる存在と感じている人が多いようです。次いで高くなったのは、「社会の役に立っていると思うから」(28.9%)、「自分・家族の生活に直結していると思うから」(24.9%)、「ないと困るから」(18.7%)、「身近な人が関わっているから」(16.6%)でした。

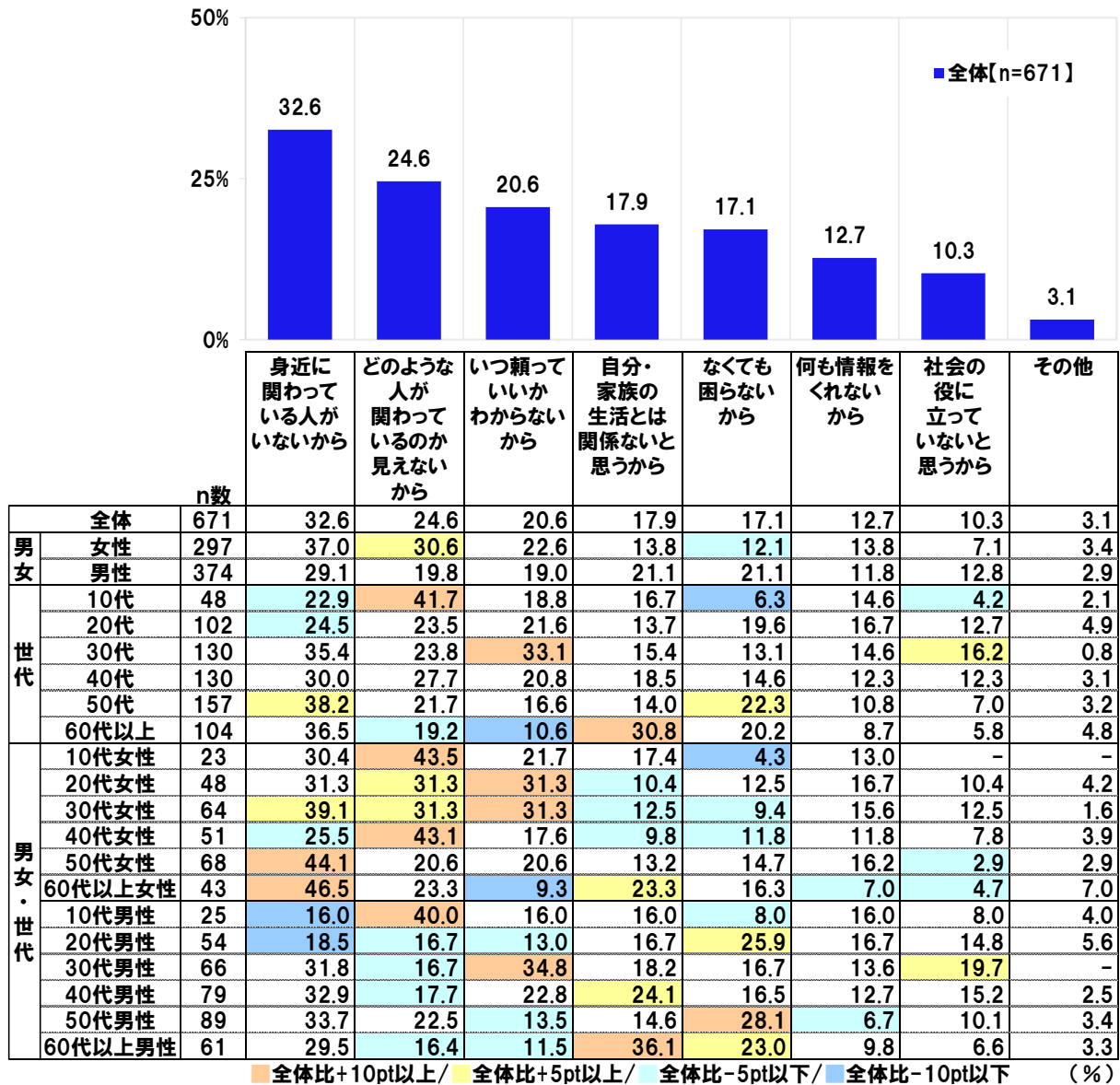
男女別にみると、男性では「社会の役に立っていると思うから」(33.6%)が1位でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)が自身にとって身近な存在だと思う理由 [複数回答形式]
 対象:連合が身近な存在だと思う人



他方、連合が身近な存在だと思わない人(671名)に、その理由を聞いたところ、「身近に関わっている人がいないから」(32.6%)が最も高くなり、「どのような人が関わっているのか見えないから」(24.6%)、「いつ頼っていいかわからないから」(20.6%)、「自分・家族の生活とは関係ないと思うから」(17.9%)、「なくても困らないから」(17.1%)、「何も情報をくれないから」(12.7%)、「社会の役に立っていないと思うから」(10.3%)、「その他」(3.1%)が続きました。

日本労働組合総連合会(通称:連合)が自身にとって身近な存在だと思わない理由 [複数回答形式]
 対象:連合が身近な存在だと思わない人



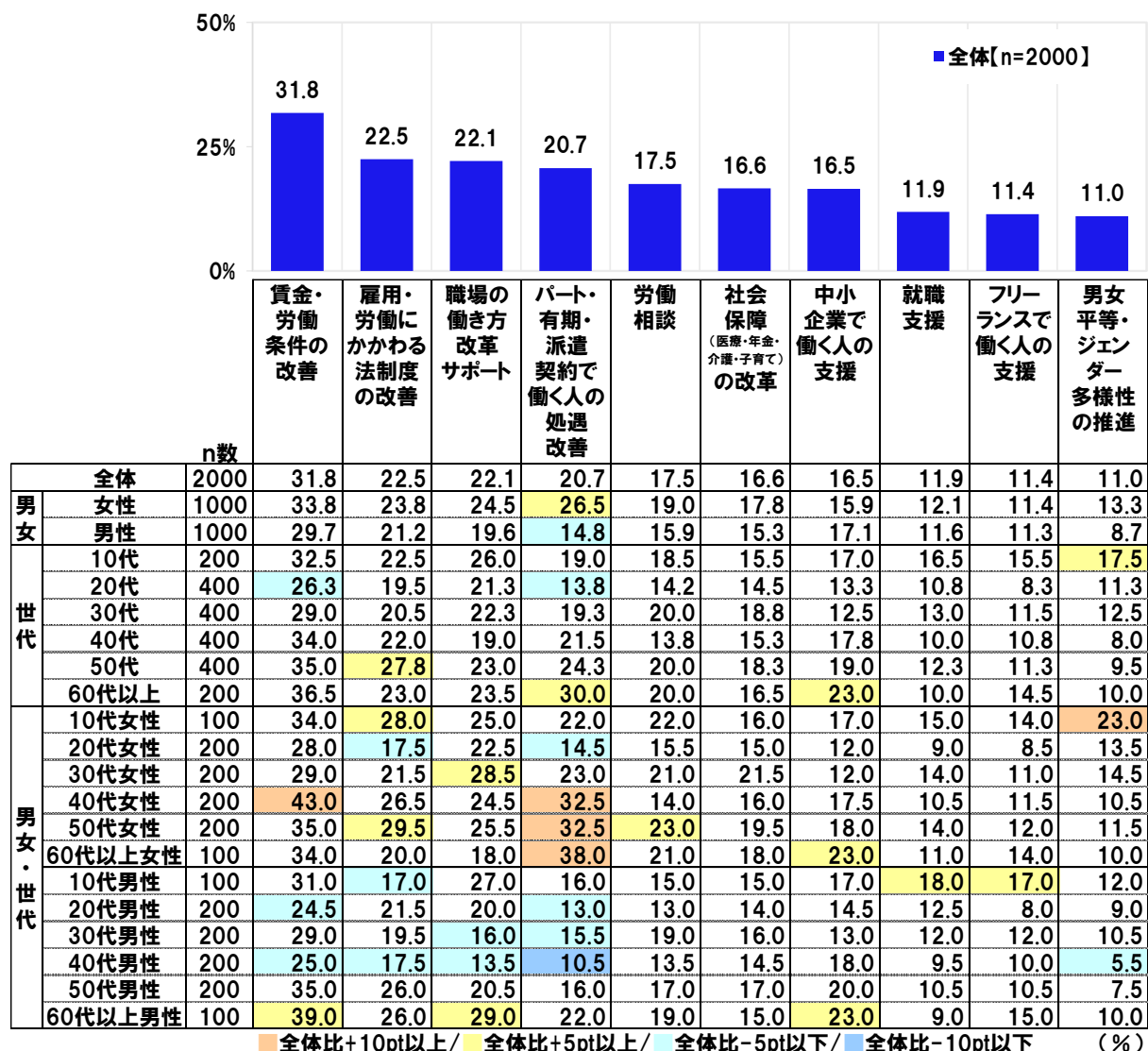
◆**連合と労働組合に期待すること 1位「賃金・労働条件の改善」2位「雇用・労働にかかわる法制度の改善」**
女性の4人に1人が「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」に期待

最後に、全回答者(2,000名)に、連合および労働組合に期待することを聞いたところ、「賃金・労働条件の改善」(31.8%)が最も高くなり、「雇用・労働にかかわる法制度の改善」(22.5%)、「職場の働き方改革サポート」(22.1%)、「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」(20.7%)、「労働相談」(17.5%)が続きました。

男女別にみると、「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」は、女性では26.5%と、男性(14.8%)と比べて11.7ポイント高くなりました。

世代別にみると、10代では「男女平等・ジェンダー多様性の推進」(17.5%)、50代では「雇用・労働にかかわる法制度の改善」(27.8%)、60代以上では「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」(30.0%)と「中小企業で働く人の支援」(23.0%)が全体と比べて5ポイント以上高くなりました。

日本労働組合総連合会(通称:連合)、および労働組合に期待すること [複数回答形式] ※上位10位までを表示



注:本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合や、全ての内訳を合計しても100%とならない場合があります。

■■調査概要■■

- ◆調査タイトル : 連合および労働組合のイメージ調査 2025
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
全国の15歳以上の男女
- ◆調査期間 : 2024年11月22日～11月25日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,000サンプル

	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
男性	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	1000s
女性	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	100s	1000s

- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、「連合調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

連合(日本労働組合総連合会)

総合運動推進局 運動企画局 担当: 藤澤
 TEL : 03-5295-0538
 Eメール : jtuc-undou-kikaku@sv.rengo-net.or.jp

総合企画局 企画局 担当: 澤田
 TEL : 03-5295-0510
 Eメール : jtuc-kikaku@sv.rengo-net.or.jp

受付時間 : 10時00分～17時30分(月～金)

■■連合(日本労働組合総連合会) 概要■■

組織名 : 連合(日本労働組合総連合会)
 代表者名 : 会長 芳野 友子
 発足 : 1989年11月
 所在地 : 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館
 活動内容 : すべての働く人たちのために、希望と安心の社会をつくる